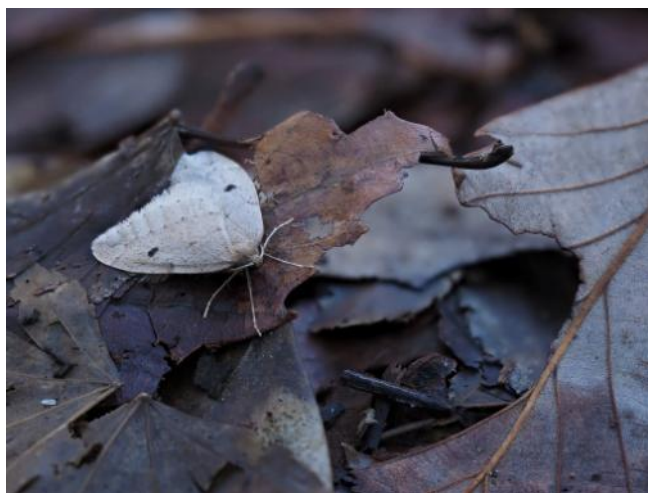




ゴロスケ報々



写真：KFC 石川

クロテンフユシャク 真冬にしか見られない虫です。

★ 友の会に新しいプロジェクトが誕生しました！ ★

●友の会新プロジェクト紹介（昆虫調べ隊）●

来年度より「昆虫調べ隊」を立ち上げます。メンバーは、既に友の会でお馴染みの、平野貞雄さん、石川裕一さん、そしてマネージャーを務めさせていただきます岸本道明の3名です。

活動はプロジェクト名の通り「昆虫の調査」ですが、当面は従来カワセミファンクラブ内で行っていたモニ1000・チョウ類調査とそれに併せて行っているトンボ類調査を引き続き行い、今後は蓄積されたデータに基づいた、昆虫の生息環境整備と整備の提案も行いたいと思います。トンボ類は分析し始めていますが、大きく個体数を減らしている種がいることが分かっています。

またプロジェクトを立ち上げたもう一つの大きな理由は、後継者の確保と育成です。全国のモニ1000・チョウ類調査の各サイトでも最大の課題は、後継者の確保です。近年「虫屋」自体が「絶滅危惧種」です。その上、ほとんど普通種ばかりを毎回調査し続けるのは、かなりの「物好き」でなくては務まりません（つまりメンバーは皆「物好き」です。）。ただ、普通種を観察し続けないと分からない面白さがあります。そして長年昆虫に係わっていると明らかに昆虫相は変わってきています。

一度調査（体験調査を予定）に参加してみませんか？ 運動不足の方にもお勧めですよ。

岸本

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●11月定例会報告●

日時 2022年11月20日(日) 9:15~10:35 センター研修室 オンライン併用会議
 出席者 青木、大浦(司会)、大西、落合、岸本、篠原、関根(書記)、高橋、半田、中里、西山、星隈、村松、山口、渡部、観察センター：掛下R、尾崎R

- 議題 1 友の会の9月から11月までの行事・活動報告をしました。
 PJ行事では「季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)、「みんなでバードウォッチング」(鳥くら)、コナラの谷の環境整備(KFC)、森ボラ(10月 事務局)が実施されました。
 森の作業体験(ZFC)と9月の森ボラは台風の影響で中止になりました。
- 2 2月までの友の会行事予定を確認しました。実施予定の行事は、「森を守るボランティア体験」観察センター共催、「季節の森を歩こう」「みんなでバードウォッチング」「森の作業体験」「野草保護の助っ人」です。12月17日に予定されていた望年会は中止になりました。
- 3 その他
 ・今年もカレンダーを販売しています。
 ・新年度計画を立てる時期になりました。各PJ&グループで話し合いを進めてください。(提出1月末)
 ・ホームページ等の見直しについて、検討を進めています。
- 4 センターより センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉

1月15日(日) 9:15~ を予定しています。参加申し込みは、後日メールで連絡します。

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅から参加出来ます。

●11月理事会報告●

日時 2022年11月20日(日) 10:45~11:30
 出席者 青木、大浦、大西、落合、関根、中里、中塚、西山、星隈、村松、山口、掛下R、尾崎R、
 岸本(新PJ提案者)(欠席：秋元、今村、漆原)(COVID-19感染拡大防止のためオンライン併用)

議題

- 1 中間報告
 ・事業及び会計の中間報告・事務連絡等
- 2 次年度事業方針
 ・2023年度の主要日程案(4/8(土)総会,10/15(日)まるごと体験,12/16(土)望年会)を了承しました。
 ・中期計画について、現期間はコロナの影響が大きいいため次期も現計画を延伸して適用することを了承しました。
- 3 利用推進会議(後期) 3月4日(土)13:00~の開催予定と議題(報告・計画)を確認しました。
- 4 安全管理(危険情報報告等)
 ・次年度安全管理講習会について、「ウィズコロナでの安全な行事・活動」に関するテーマで検討する方針を確認しました。
 ・行方不明者(認知症)の搜索情報があり、7日後に近隣の別の場所で発見されたケースの報告がありました。通常では行方不明者情報が入るルートが無いいため、同様の情報を入手した方はセンターへご一報願います。
- 5 その他
 ・新プロジェクト「昆虫調べ隊」設立について提案があり、了承しました。
 ・本年度末をもって「自然と遊ぼう」プロジェクト完了の報告があり、了承しました。
 プロジェクトマネージャーの村松さんはじめメンバーの皆様、長年にわたり本当におつかれさまでした。ありがとうございました。
 ・銀行支店統合で不便となるため絵葉書作成積立金特別会計を一般会計口座へ移動することについて会計から報告されました。

〈次回理事会〉

日時 1月15日(日) 11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(オンライン併用)

議題 次年度計画、定期総会準備、利用推進会議、安全管理 ほか

以上



横浜上空を渡る少数派の渡り鳥とは？

私はこの森に入って野鳥観察を始めてから 15 年になりますが、時に説明の付かない不思議に遭遇することがあります。野鳥好きのあなたなら、ムナグロという名を聞いたことがあると思います。シベリヤやアラスカの沿岸部で繁殖し、地球を縦断するような長距離の渡りで越冬地との間を旅するチドリ目の鳥です。日本でも渡りの途中の春と秋に旅鳥として観察する事ができます。

近年、カラーリングやデータロガーをムナグロに装着し、その移動経路を辿る研究が進展しています。その結果によれば、ムナグロの多くはアラスカやその周辺で繁殖後、太平洋を直接南下し、南太平洋の島嶼で越冬、春には秋とは別ルートの日本経由でアラスカ周辺へ戻ります。

一方、少数は越冬の為、多数派とは異なるルートで秋に日本を通過、南部オーストラリアまで長距離渡り、そこで越冬後に春にも日本を通過して北の繁殖地へ戻るとの事です。つまり、春に日本で観察されるムナグロは多数派と少数派、秋に観察されるムナグロは少数派のみという事になります。

私は 2013 年 9 月に関谷奥見晴台でムナグロが群れで渡る姿を撮影できました。観察センターからムナグロはこの森での初記録、と認定を頂きました。しばらく観察が途絶えていましたが、2018 年 8 月末に至り、ウォッチング仲間の依田秀信氏がやはり関谷奥見晴台でムナグロの撮影に成功しました。その翌年の 2019 年 10 月に再び私は関谷奥見晴台から遠方を横切るムナグロの群れを観察。そして 2022 年 9 月に私として 3 回目のムナグロの群れを関屋奥見晴台で観察できたのです。この森での計 4 回の観察は全て 8 月から 10 月の秋の渡り時期に当たります！どうやらこの森で観察されるムナグロは秋に日本を通過する少数派であり、南部オーストラリア目指して長い旅路についている群れである、と言えそうです。

不思議なのは、秋には少数派のムナグロを観察できているのに、全てのムナグロが日本を通過しているはずの春に横浜では一度も確認できていない事です。関屋奥での観察は一年を通して実施しているにも関わらず、です。

現在もこの理由を私なりに考え続けていますが、この奇妙な事例から野鳥観察のロマンと醍醐味を感じていますし、だからこそ当面野鳥観察はやめられませんね。

カワセミファンクラブ 大浦晴壽

●友の会プロジェクト紹介（森のカエル調査隊）●

みなさんこんにちは。森のカエル調査隊の篠塚です。

私たちは 2007 年から、毎年冬にアカガエルが産卵した卵の数（卵塊数）の調査を行っています。

観察の森に生息しているのはヤマアカガエルという種類のカエルで、そのカエルは 1000 個程度の卵が集まって塊（かたまり）になったもの（これを卵塊（らんかい）といいます）を水中に産卵します。

この卵塊がいくつあるかを探して数える調査です。

ヤマアカガエルは冬季に産卵するカエルなので、おおむね 1 月～3 月の隔週土曜日に活動しています。

ハイケボタルの湿地などの水辺を回り、水の中に入って行って卵塊がいくつあるか確認します。卵塊は重なるように産卵されることが多く、水中に手を差し入れて卵塊を一つ一つ確認するときは、あまりの水の冷たさに指が凍りつくように痛くなります。調査結果は毎年「横浜自然観察の森調査報告」に投稿しています。

また、観察の森の調査担当レンジャーからの依頼を受けて、モニタリング 1000 里地調査に 2013 年から調査データを提供しています。

森のカエル調査隊 篠塚

昨年同時期の友の会ブログ記事を再掲載して、
この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報 ブログより

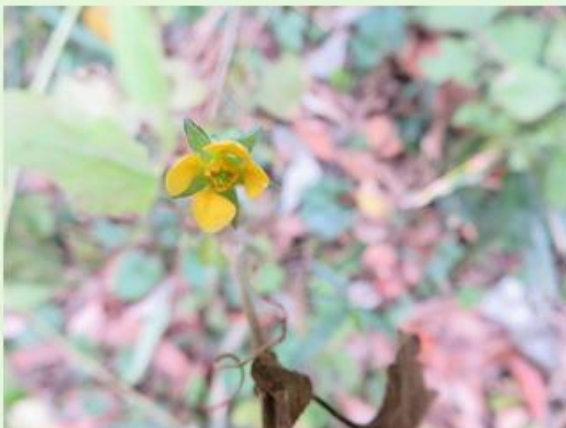
今回は、2021年12月7日付け「野草の調査と保護」さんのブログです。
食べ物が少ない冬の森で、野草の実には森の生き物たちの貴重な食糧なのですね。

編集担当

さて森を歩くと何に出会えるでしょうか？



アオキの実と葉 アオキ科
あざやかなグリーンとくっきりした赤。
今日はあちらこちらで見られましたよ。ヒヨドリのご好物ですね。



ダイコンソウ パラ科
花期は7～8月ということなのですが、今頃でも咲いている花を見かけます。
花が少ない時期に森を飾ってくれます。

ここからは少し実を紹介しましょう。



サルトリイバラ サルトリイバラ科
この写真の実には長倉口のトイレの前です。ほかでも見られるはずですが・・・。
ツルには鋭いトゲがあるのでご注意ください。



ヤブラン クサスギカズラ科
花を紹介することが多いのですが、今年は立派なつやつやした実が多いので紹介したくなりました。園内あちらこちらで見られると思いますが、足元なのでうっかり通り過ぎてしまうかも。



●コナラの谷の環境整備●

日時：2022年11月6日（日）9：00～10：30

参加：スタッフ3名、会員0名

コナラの谷でトンボの生息環境維持の為に除草作業等を掛下チーフレンジャー、松本レンジャーの協力を得て実施しました。保全管理計画の方針に沿うよう、水路の上に掛かる草等のみを対象にし、トンボの飛行通路を確保しました。担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)●

2022年11月26日（日）

雨のため、中止しました。

担当：雑木林ファンクラブ

●自然案内人講座(友の会会員向け)●

日時：2022年11月5日（土）～6日（日） 参加者：PJメンバー5名、友の会1名

自然案内人講座は、森の魅力を伝えるインタープリテーションのコツを学べる2日間の講座です。コロナ禍で開催を見合わせていましたが、今年是一般募集は行わず、PJメンバー・友の会会員向け研修会として実施しました。

初日は、森の中を歩いて自然の発するメッセージを受け取る練習からスタート。そのメッセージを共有し、よりわかりやすい伝え方を考えました。2日目は、「季節の森を歩こう」で一般来園者へガイドを実践。初日の成果を活かし、来園者に森の生き物たちの魅力を紹介しました。

2日間、仲間と共にじっくりと自然に向き合うことで、新人メンバーは勿論、ベテランメンバーにも気づきの多い研修会となりました。

ハンミョウの会 西山

友の会行事のお知らせ

●森を守るボランティア体験●

日時：2023年2月19日（日）9：30～12：00

今回はカワセミファンクラブの担当です。前半は観察センターで森や友の会の説明、後半は皆で園内に出て、冬の野鳥を観察・記録しましょう。参加の詳細は観察の森のHPをご覧ください。

担当 カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)●

日時 2023年2月25日（土）10：00～12：00

ノコギリを使って木を伐採する体験ができるほか、薪割りやコースター作りや竹細工なども体験できます。当日はドラム缶窯を使った炭焼きを行っています。見学も可能です。

集合：10時までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：5名（中学生以下、保護者同伴）

※人数は状況により、変更します。多い場合は先着順とします。

申込期間：1月25日（水）～2月22日（水）

※天候などにより、やむを得ず中止する場合がありますことをご了承ください。

Fax (045-894-8892) (観察の森) または、Eメール (entry@ynstomo.org)

担当：雑木林ファンクラブ

●初めてのバードウォッチング講座●

日時：2023年2月26日（日）

初心者の方限定のバードウォッチング講座です。

前半は室内でバードウォッチングの基礎を、後半は野外に出て実際の体験をしていただきます。

詳しい要項は、年が明けてからHPや友の会のブログ「森のでできごと」に掲載します。

鳥のくらし発見隊



自然観察センターだより



2022年 12月号

【報告】 保安全管理フォローアップの会(11/12(土) 13~15時)

○参加者：友の会5名（今村修さん、内田裕さん、鎌田英男さん、高橋奈緒子さん、渡部克哉さん）
レンジャー2名（掛下尚一郎、中沢一将）

○内容：セイタカアワダチソウの調査と除草の結果速報とピクニック広場のクズ根ほり

3年間調査を継続したピクニック広場でのセイタカアワダチソウの除草調査について、過去の写真やグラフを見ながらその効果について意見交換をしました。セイタカアワダチソウを駆除した調査区では2年目、3年目とツル植物の被度が高くなり、セイタカアワダチソウの生育を阻害している可能性があること、低木がある環境下では低木がない調査区よりも3年目にツル植物の被度が低くその分セイタカアワダチソウが生育しやすい可能性が示唆されました。また、低木がある環境下で育ったセイタカアワダチソウは周囲から飛んできたタネが発芽して生長した可能性も示唆されました。駆除の効果は7月より9月の方が高そうであることも示されました。さらに検証した上で、来年発行予定の調査報告書であらためて報告したいと思います。

報告の後は1時間ほど、ピクニック広場のオギが分布する箇所ですくずの根ほりをおこないました。短時間でしたが長く長い根をいくつも掘ることができました。



【お知らせ】 次回 保安全管理フォローアップの会

★2023年1月14日(土) 13~15時

○内容：ピクニック広場のクズ根ほり

集合：研修室 持ち物：作業のしやすい服装、帽子、飲み物、滑り止めつき軍手、マスク

※ご出席いただける方は、前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。

【報告】 秋の森おさんぽラリー

10月8~10日の三連休に、イベント「秋の森おさんぽラリー」を開催しました。地図を手にタンポポの道をゆっくり1時間、始まったばかりの黄葉や、木の実、バッタを探して楽しんでもらいました。

「春のおさんぽ〜」に続き、感染症対策を取りながら、センター前にスタート&ゴールを設置し、対面で参加者をお迎えしました。安定しないお天気に、来園者はまばらでしたが、参加者からは「家族で楽しめた」「生きものに出会えた」「普通の公園じゃない、自然がすごかった」といった感想があり、楽しんでもらえた様子です。開催

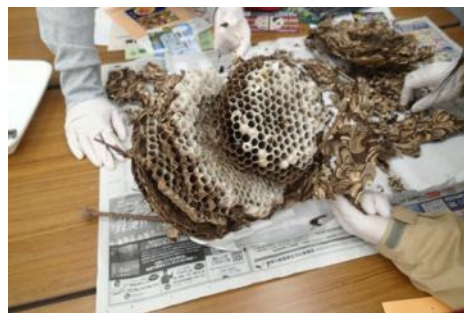


にあたっては、友の会のみなさまに受付・ゴール対応、誘導、呼び込みなどにご協力いただきました。また、学生ボランティアにも観察の森や森での活動についてお話し、交流していただき学びの場を提供していただきました。

【報告】森の生きもの講演会

「ハチたちが教えてくれた「もう一つの社会」～ミツバチ、マルハナバチ、スズメバチと私たちの関係～」

今年度の「生きもの講演会」は、2年ぶりに対面で開催することができました。玉川大学学術研究所の小野正人先生を講師にお招きし、ご専門とするハチ類の生態や私たちの暮らしとの関わりについてお話を伺いました。さらに、スズメバチの巣の標本を解体し、会場は大盛り上がりでした。実際に巣に触れることが初めての方が多く、巣の軽さに驚かれていました。巣には抗菌作用のあるスギやヒノキなど様々な樹種が使われ、外皮は外側からつくられるため縞模様がありますが、巣が大きくなるにつれて巣の内側から削り取るため模様ははっきりしていないということなど先生の解説を伺いながら、観察しました。参加者の興味・疑問が広がり活発な質問や先生との交流が生まれ、イベントを通して和やかな講演会となりました。



【お知らせ】調査報告 27 を発行します

森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告 27」を12月に発行します。おかげさまで今回も、調査記録 28 本、約 150 ページにわたる冊子となりました。各プロジェクトに1部ずつお渡しするほか、観察の森ホームページでも PDF 版を公開予定ですので、ご覧ください。また、「調査報告 28」に向けて「面白い発見をしたから書きたい!」「こういう観察って記事になるのかしら?」といったご相談もお待ちしております。



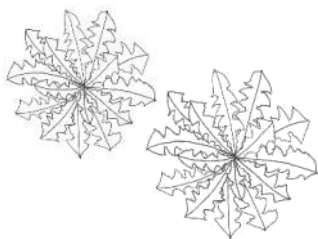
【お知らせ】自然観察センターの年末年始のお休み

2022年12月28日(水)から2023年1月4日(水)まで観察センターは休館になります。1月5日(木)より開館します。新しい年もどうぞよろしくお願いたします。なお休館中も野外は散策できます。気をつけて自然観察をお楽しみください。



ボランティアさん
ありがとう

10月1日～11月30日



- 10/1～ カワセミファンクラブのみなさま
自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供
- 10/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 10/9・11/13 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報のご提供
- 10/8・9・10 中里幹久さん 今村修さん 石川裕一さん
雑木林ファンクラブのみなさま
主催行事へのご協力
- 10/15 雑木林ファンクラブのみなさま CSR 活動用記念杭の制作のご協力
- 11/5 雑木林ファンクラブのみなさま CSR 活動へのご協力
- 11/9 雑木林ファンクラブのみなさま 関係者駐車場の草刈り

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者:



行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

★森を守るボランティア体験

開催日：2/19(日) 9:30～12:00
申込：観察の森 HP をご覧ください。
担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)

開催日：2/25(土)
10:00～12:00
集合：10:00までに炭焼き小屋
対象・定員：5名(中学生以下は保護者同伴)
申込期間：1/25(水)～2/22(水)
申込：Fax. 045-894-8892(観察の森)
または、Eメール(entry@ynstomo.org)
担当：雑木林ファンクラブ

●初めてのバードウォッチング講座 (初心者の方限定のバードウォッチング講座)

日時：2/26(日)
詳しい要項は、年が明けてからHPや友の会のブログ「森のでできごと」に掲載します。
担当：鳥のくらし発見隊

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●季節の森を歩こう(対面開催)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
1/8(日)・2/5(日)
11:00～12:00

定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)
申込：メールで entry@ynstomo.org
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
事前申込制で活動しています！
1/8(日)・2/12(日)
9:30～12:00(雨天中止)

定員：25名(事前申込、応募多数の場合抽選)
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)
申込：メールで entry@ynstomo.org
申込内容等、詳細はブログ「森のでできごと」参照
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●自然観察センター主催行事●

■鳥類調査超入門

野鳥を調べ記録する方法や、結果のまとめ方を一緒に体験しませんか。

開催日：① 1/22(日)、② 3/23(木)
※両日とも同じ内容です。※雨天決行
時間：9:30～12:30
場所：自然観察センター(集合・解散)
対象：以下の条件を満たす中学生以上の方
各回10名(抽選)

・野鳥観察歴1年以上
・身近な野鳥10種以上の姿や鳴き声が識別できる
※希望者に限り双眼鏡貸出(事前申込)
申込：必要。HPか観察センターで配布するチラシ
をご覧ください。
締切：① 1/12(木)、② 3/13(月)

●参加者募集中止の定例行事●

2022年度の行事活動は中止です。

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

★ 注意 ★

新型コロナ感染症対策の状況によっては、各行事の募集中止/再開、開催方法や開催日の変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)
で随時情報を更新していきますので、そちら
でご確認をお願いいたします。

発行日 2022年12月18日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: jimukyoku@ynstomo.org